

文化財

1 平成30年度 主要な事業

文化財は、郷土の先人たちが営々として築き上げ、また守り育ててきた貴重な文化遺産である。私たちは身近な郷土の文化財をとおして、先人たちの優れた生きざまを学びとり、あるいは環境の巧みな利用法に接して、私たちの生活文化をより豊かなものにすることができる。その保護・保存と活用は、先人への敬愛の念と自然への畏敬の態度を養う原点でもあり、そして子孫への継承は、私たちの負うべき責務の一つでもある。

本市では、文化財保護法の主旨に則り、文化財の保護・保存と活用を図るために調査・保存・指定・管理・公開等の事業を推進しながら「文化財を活かした」都市づくりを展開している。

(1) 埋蔵文化財発掘調査

駅周辺総合整備事業、区画整理事業、宅地造成事業など公共・民間の各種開発等に伴う事前審査や発掘調査を実施。遺跡の確認、記録保存、現状保存等の措置を講じている。

埋蔵文化財にかかる平成30年度の調査計画は次の表のとおりである。

	遺跡名・回数	時代
1	大友氏館 38 次	戦国
2	中世府内町跡（唐人町周辺）	戦国
3	城原・里遺跡	弥生
4	高松東遺跡 2 次	古墳
5	府内城・城下町跡（確認調査）	近世
6	府内城・城下町跡（確認調査）	近世
7	府内城・城下町跡	近世
8	横尾遺跡	縄文

(2) 文化財保存整備事業

① 史跡大友氏遺跡整備事業（短期整備）

事業者 大分市

史跡大友氏遺跡整備基本計画（第1期）に基づき、短期整備として大友氏館跡庭園遺構の整備を行い、平成32年4月に公開する。

平成30年度の予定

- ・庭園遺構整備工事の実施
- ・史跡大友氏遺跡整備基本計画の見直し作業

② 国指定史跡「大分元町石仏」保存整備事業

事業者 大分市
大分元町石仏の環境調査、及び劣化対策である和紙による脱塩処理を継続し、石仏覆屋改修後の環境モニタリングを行い、事業成果を報告書として刊行する。

③ 重要文化財「柞原八幡宮」保存修理事業

事業者 柞原八幡宮

柞原八幡宮本殿を含む10棟の解体及び半解体、部分修理を行う。

平成30年度の予定

解体に伴う工事の実施。

④ 府内城宗門櫓修復公開活用事業

事業者 大分市

傷みが進行している宗門櫓を半解体修理し、公開・活用することをめざす。

平成30年度の予定

屋根瓦全面葺替 柱・梁等木部修理

⑤ 県指定史跡「曲石仏付双塔（五輪塔）・磨崖連碑」保存調査事業

事業者 大分市

曲石仏を安置する石窟に崩落の危険があることから、今後の保存整備に必要な調査を実施する。

⑥ 市指定有形文化財「霊山寺山門」防災設備整備事業

事業者 霊山寺

山門に自動火災警報装置を設置する。

⑦ 府内城跡基礎調査事業

事業者 大分市

府内城跡の整備や保全に資する基礎データを取得するため、平成31年度から5か年で文献史料調査、石垣測量調査、城跡の発掘調査（確認調査）を進め、報告書をまとめる。

(3) 各種委員会の開催

① 大分市文化財保護審議会

大分市文化財保護審議会条例により設置。文化財の指定、保存及び活用に関する重要事項について調査、審議することを目的とする。

第1回 平成30年7月9日（金）開催

第2回 平成30年11月頃開催予定

② 高崎山管理委員会

国指定天然記念物「高崎山の猿生息地」の適正管理を行い、高崎山全体のより適正な保存管理運営を行うことを目的とする。

第1回 平成30年6月27日（月）開催

第2回 平成31年1月頃開催予定

③ 大分元町石仏保存整備委員会

大分元町石仏の塩類風化への対策と手法の検討を行う。

第1回 平成30年9月頃開催予定

第2回 平成30年12月頃開催予定

- ④ 史跡大友氏遺跡整備検討委員会
 国指定史跡である大友氏遺跡を大友氏遺跡歴史公園として適切に整備し、効果的な活用方法を検討する。
 第1回 平成30年6月7日(木)開催
 第2回 平成31年2月頃 開催予定
- ⑤ 大友氏館跡庭園整備検討委員会
 庭園及びそれに関わる遺構の復元整備や設備、公開活用に必要な諸施設等について検討する。
 第1回 平成30年10月2日(火)開催予定
 第2回 平成31年2月頃 開催予定
- ⑥ 府内城宗門櫓保存修理検討委員会
 府内城宗門櫓の修理を進めるため、修理の方法等について協議する。
 第1回 平成30年9月頃開催予定
 第2回 平成30年11月頃開催予定
- ⑦ おおいた地域伝統文化応援事業選考委員会
 大分市内に守り伝えられてきた伝統文化の継承・再興及び発展を通じ、世代間の交流の増進や地域の活性化を図ることを目的とする。
 平成30年5月25日(金)開催

(4) 普及・愛護の啓発活動

- ① 大友氏遺跡情報発信事業
 ア FUNA Iジュニア検定
 郷土に対する理解と愛着を深めるため、小中学生を対象に歴史検定を実施し、成績上位者は表彰する。また、合格者のうち希望者を大友氏遺跡等のジュニアガイドとして養成する。(7月28日開催)
- イ 大友宗麟副読本
 平成25年度に作成した大友宗麟副読本を、平成30年度も市内の小学6年生に継続して配布し、授業およびFUNA Iジュニア検定に活用する。
- ウ 南蛮BVNGO交流館
 大友氏遺跡の案内や最新情報の発信をより効果的に行うため、元町にある「大友氏遺跡体験学習館」を顕徳町の大友氏館跡内へ移転し、「南蛮BVNGO交流館」として開館する。大友氏遺跡や大友宗麟の功績について、展示や映像等により紹介するとともに、大友氏遺跡を中心とした歴史・文化の情報発信拠点として、効果的な活用

を図る。

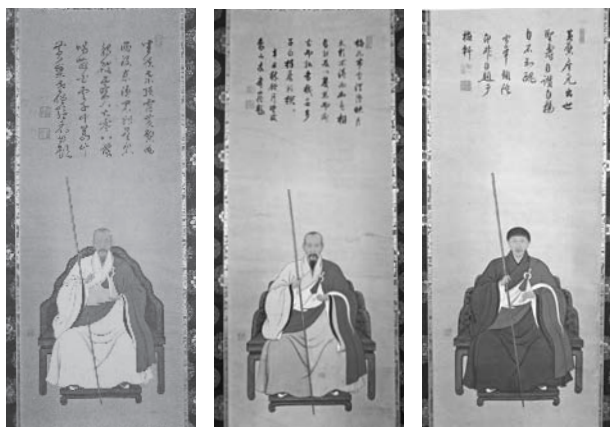
- 9月30日(日)開館予定
- エ 国民文化祭分野別事業「おおいた府内歴史絵巻800年」
 第33回国民文化祭・おおいた2018及び第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会の関連行事として、大友氏を中心とした豊後府内の歴史や文化を体験できるイベント等を開催する。
 ・戦国大名フォーラム in 豊後府内「センゴク大名百花繚乱」
 豊後の戦国大名・大友宗麟や全国の戦国大名について、著名人が語るイベントを実施する。
 ・大友氏遺跡フェスタ2018
 国指定史跡である大友氏遺跡を多くの方に知ってもらうため、国民文化祭のテーマである「おおいた大茶会」にあわせたイベントを実施する。
 ・FUNA Iジュニアガイドでめぐる豊後府内まち歩きウォーキングを実施し、FUNA Iジュニアガイドが大友氏遺跡や遊歩公園の解説を行う。
 ・大友館跡発掘調査あゆみ展「ここまでわかった!大友氏館跡発掘20年」
 大友氏館跡発掘調査20年の成果を、多くの方に知ってもらうためのパネル展示を行う。
 ・府内城下町跡速報展示
 荷揚町小学校跡地の発掘調査について、江戸期の府内城下町の実像を県内外の方に広く知ってもらうためパネル展示を行う。
- ② 文化財防火デー
 昭和24年1月26日に法隆寺金堂壁画が焼損したため、この日を文化財防火デーと定め、文化財防火訓練を展開し、文化財愛護思想の高揚を図る。
 実施予定日 平成31年1月下旬頃
 予定箇所 重要文化財「柞原八幡宮」

2 平成29年度指定文化財

大分県指定有形文化財指定

指定日 平成30年2月6日

- ① 「紙本著色隠元・木庵・即非三幅対像」
 江戸時代
 所有者 長福寺



「隠元像」

「木庵像」

「即非像」

- ② 「四日市遺跡出土木棺墓出土品」(41点)
 平安時代
 所有者 大分県



「和釘」(左) 「青磁唾壺」(上)
 「隅入宝鏡」(下) 「土師器坏」(右)

3 収蔵・公開施設

施設名	毛利空桑遺品館
所在地	〒870-0101 大分市鶴崎 381 番地の 1
電話	097-521-4893
休館日	毎週月曜日(月曜日が祝日の場合翌日) ただし毎月第1月曜日は開館し翌日休館 年末年始(12/28～1/4)

概要	鶴崎在住の肥後藩士。儒者、教育家として家塾知来館・郷校成美館などで子弟を教育し、また勤皇家としても活動した毛利空桑の偉業をしのぶため、彼の遺品を収蔵、展示したものである。居宅天勝堂と知来館に隣接する。昭和60年改築。	
	平成29年度入館者数	
	大人	6,038人
	小人	642人
合計	6,680人	

施設名	池見家住宅	
所在地	〒870-0315 大分市大字佐野 佐野植物公園内	
電話	なし(問合せは文化財課へ)	
休館日	毎週月曜日(月曜日が祝日の場合翌日) 年末年始(12/28～1/3)	
概要	江戸時代、原村・久土村を統轄する臼杵藩丹生原組の庄屋を勤めた池見家の邸宅で、市内では最古の民家として歴史的な価値を持つものであり、また、普通の民家とは違って庄屋住宅としての構造をよく伝えた建物で、建築史の上からも注目される。平成3年佐野植物公園内に移築復元。	
	平成29年度入館者数	
	大人	5,045人
	小人	2,526人
合計	7,571人	

施設名	海部古墳資料館	
所在地	〒870-0303 大分市大字里 646 番地の 1	
電話	097-524-2300 FAX 097-524-2301	
休館日	毎週月曜日(月曜日が祝日の場合翌日) ただし毎月第1月曜日は開館し翌日休館 年末年始(12/28～1/4)	
概要	国指定史跡「亀塚古墳」のガイダンス施設として広く古墳文化を案内する施設。展示室には、実物資料や複製品のほか、大型ジオラマ、市内の古墳復元模型を展示し、楽しみながら学べる資料館です。平成12年4月開館。	
	平成29年度入館者数	
	団体	3,782人
	個人	15,062人
合計	18,844人	

施設名	大友氏遺跡体験学習館										
所在地	〒870-0843 大分市大字大分 4257 番地の 1										
電 話	097-544-5011	FAX	097-544-5011								
休館日	毎週月曜日（月曜日が祝日の場合翌日） ただし毎月第1月曜日は開館し翌日休館 祝日の翌日（土・日曜日の場合開館） 年末年始（12/28～1/4）										
概 要	<p>国指定史跡「大友氏遺跡」の内容と発掘調査への理解を深めてもらうために、設置した施設。調べ学習の資料や、体験学習のメニューを揃え、研修室では、40名が活動を行える。平成20年4月開館。平成29年度入館者数</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">平成29年度入館者数</td> </tr> <tr> <td>団 体</td> <td>9,066 人</td> </tr> <tr> <td>個 人</td> <td>1,571 人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>10,637 人</td> </tr> </table>			平成29年度入館者数		団 体	9,066 人	個 人	1,571 人	合 計	10,637 人
平成29年度入館者数											
団 体	9,066 人										
個 人	1,571 人										
合 計	10,637 人										

施設名	帆足本家酒造蔵										
所在地	〒879-7761 大分市大字中戸次 4381 番地の 1										
電 話	097-597-4649	FAX	097-597-4649								
休館日	毎週月曜日（月曜日が祝日の場合翌日） 年末年始（12/28～1/4）										
概 要	<p>江戸時代に日向街道沿いの「在町」として栄えた戸次本町の中心に位置しており、江戸時代の酒造工程を今に伝える蔵やその中に酒造用具が展示されている。（大分市指定文化財）</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">平成29年度入館者数</td> </tr> <tr> <td>団 体</td> <td>1,323 人</td> </tr> <tr> <td>個 人</td> <td>8,726 人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>10,049 人</td> </tr> </table>			平成29年度入館者数		団 体	1,323 人	個 人	8,726 人	合 計	10,049 人
平成29年度入館者数											
団 体	1,323 人										
個 人	8,726 人										
合 計	10,049 人										

4 指定等文化財

(1) 国指定

平成30年4月1日現在

① 重要文化財

名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘 要	参 考
太 刀	八 幡	柞原八幡宮	昭25. 8.29	銘 国宗 長さ 75.8cm	鎌倉時代
太 刀	〃	〃	〃	銘 源国（以下一字並年号不明）長さ 108cm	〃
薙 刀 直 し 刀	〃	〃	〃	銘 表「国重八幡大菩薩」裏「天満大自在天神」	鎌倉時代末期～南北朝時代
銅 造 仏 像	〃	〃	〃	社伝 阿弥陀如来立像 金剛仏 重さ 11.25kg 像高 30.3cm	白鳳時代
木造普賢延命菩薩坐像	〃	大 山 寺	昭50. 6.12	榿材 像高 87.7cm	平安時代
後 藤 家 住 宅	柞ヶ原	個人所有	昭50. 6.23	18世紀中頃の庄屋の母屋 寄棟造り茅葺	江戸時代
白壇塗浅葱糸威腹巻 兜・大袖・小具足付	八 幡	柞原八幡宮	昭55. 6. 6	胴高 32.3cm 草摺高 28.5cm 兜鉢高 18.0cm	室町時代末期
木造大日如来坐像	上野丘	金剛宝戒寺	平 3. 6.21	文保2（1318）康俊作 檜材寄木造像高 303.8cm	鎌倉時代
柞原八幡宮文書	八 幡	柞原八幡宮	〃	柞原宮領関係史料（213通）元和7年	平安・鎌倉・南北朝・室町・江戸
帆足家伝来田能 村竹田関係資	美術館	大 分 市	平 6. 6.28	紙本墨画淡彩花卉図外 25 点	江戸時代
柞原八幡宮	八 幡	柞原八幡宮	平23. 6.20	本殿・東宝殿・西宝殿・申殿・拜殿・楼門・東回廊・西回廊・西門・南大門の10棟	江戸～明治

② 史跡

名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘 要	参 考
豊後国分寺跡	国分	大分市	昭8.2.28	国分僧寺 追加指定(昭58.9.8 昭61.5.28)	奈良時代
大分元町石仏	元町	〃	昭9.1.22	日羅または仁間の作と伝えられる 保存修理 昭46, 52, 53, 61年以降	平安時代
高瀬石仏	高瀬	〃	〃	石窟を彫り込み奥壁に東を向いて彫られる	平安～鎌倉時代
千代丸古墳	宮苑	〃	昭9.5.1	装飾古墳 横穴式石室	古墳時代後期
築山古墳	本神崎	八幡神社	昭11.9.3	前方後円墳 箱式石棺	古墳時代中期
古宮古墳	三芳	大分市	昭58.5.11	石棺式石室墳 九州では他に例なし	終末期古墳 (7世紀)
亀塚古墳	里	〃	平8.3.28	前方後円墳 全長約116m	古墳時代中期
大友氏館跡	顕徳	〃	平13.8.13	九州六国を支配した大友宗麟を全盛期とする 戦国大名・大友氏の拠点方二町(200m四方)	戦国時代
横尾貝塚	横尾	〃	平21.2.12	縄文時代の集落の移り変わりが復元できる。縄文 時代からの地形と自然がよく残されている。	縄文時代

③ 天然記念物

柞原八幡宮のクス	八幡	柞原八幡宮	大11.3.8	自生のクス 樹高約30m 幹囲約18.5m	
高崎山のサル生息地	神崎	大分市	昭28.11.14	都市近郊における日本猿の自然的集団	
オオサンショウウオ	神崎	㈱マリンパレス	昭27.3.29	広島市安佐動物公園より譲渡	特別天然記念物

④ 無形民俗文化財(選択)

鶴崎踊	鶴崎	鶴崎おどり会 保存会	昭61.12.17	記録保存の措置を講ずべきものとして選択	
-----	----	---------------	-----------	---------------------	--

⑤ 登録文化財

大分銀行赤レンガ館(旧二十三銀行本店・旧府内会館)	府内町	(株)大分銀行	平8.12.20	鉄筋コンクリート造2階建 スレート及び瓦葺	大正2年(1913)
太田岳詰工場主屋	白木	(株)秀観	平11.6.7	木造2階建 寄棟造 洋風の玄関特徴 接客用 座敷や和室の居住部分と工場事務室併設	明治39年(1908)
太田岳詰工場土蔵	〃	〃	平11.6.7	切妻造の2階建て 外壁漆喰仕上げ	〃
太田岳詰工場石倉	〃	〃	平11.6.7	外壁周りを石造 軒周り漆喰仕上げ 正面左右に2つ出入口があるのが特徴	大正期
荻本家住宅主屋	坂ノ市	個人所有	平17.7.12	木造平屋建一部二階建 瓦葺 建築面積244㎡	江戸末期
帆足家分家住宅「松石不老館」主屋	中戸次	個人所有	平17.11.10	入母屋造、棧瓦葺、木造2階建 通り土間を もつ商家建築の形式	明治39年(1908)
帆足家分家住宅「松石不老館」新座敷	〃	〃	〃	寄棟造、棧瓦葺、木造平屋建 南側に広縁を とり中庭を望む 門及び塀は棧瓦屋根	明治中期
帆足家分家住宅「松石不老館」道具蔵	〃	〃	〃	切妻造、棧瓦葺、土蔵造2階建 切石積み の上に建つ 海鼠壁	〃
帆足家分家住宅「松石不老館」質蔵	〃	〃	〃	切妻造、棧瓦葺、土蔵造2階建 切石積み の上に建つ 海鼠壁 棧瓦屋根の板塀及び門	〃
帆足家分家住宅「松石不老館」湯殿及び風呂	〃	〃	〃	湯殿を南北棟、風呂を東西棟とし、両棟が接して 建つ 寄棟及び入母屋の屋根、共に棧瓦葺	〃
帆足家分家住宅「松石不老館」井戸上屋	〃	〃	〃	切石積み基壇の上に四方に柱を立て、切妻 造、棧瓦葺 切石を長方形の井桁に組む	〃
帆足家分家住宅「松石不老館」穀物蔵	〃	〃	〃	切妻造、棧瓦葺、土蔵造2階建 引戸口2箇所 全長に吹き放ちの下屋 切石積みの上に建つ	明治22年
帆足家分家住宅「松石不老館」味噌蔵	〃	〃	〃	切妻造、棧瓦葺、木造平屋建 下屋北側2間 半分を壁で囲む 切石積みの上に建つ	〃
帆足家分家住宅「松石不老館」裏二階	〃	〃	〃	寄棟 棧瓦葺 木造2階建 裏木戸中央に1間 幅の観音開きの木戸口	明治中期
帆足家分家住宅「松石不老館」門	〃	〃	〃	間口は2.7m、棟門の形式、棧瓦葺、木造 両 脇に塀を続け、門脇に潜戸を設ける	〃
帆足家分家住宅「松石不老館」塀	〃	〃	〃	切石積みの上に建ち、腰を下見板張り、上部を 真壁造、漆喰塗り2箇所格子窓、棧瓦葺屋根	〃

文化財

名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘 要	参 考
帆足家本家住宅 「富春館」主屋	中戸次	個人所有	平18.11.29	木造二階建 一部平屋 入母屋造 棧瓦葺 南側中央式台玄関を設け 西側に一段高い座敷	慶応元年(1865年)
帆足家本家住宅 「富春館」宝蔵	〃	〃	〃	土蔵造二階建 切妻造 棧瓦葺 一階2室 二階1室 外壁漆喰ぬり 腰を海鼠壁	大正期
帆足家本家住宅 「富春館」質蔵	〃	〃	〃	土蔵造二階建 切妻造 棧瓦葺 一階2室 二階1室 外壁漆喰ぬり 腰を海鼠壁	大正5年頃
帆足家本家住宅 「富春館」洋館	〃	〃	〃	木造二階建 寄棟造 棧瓦葺 南側に洋室 東側に店舗を付属 モルタル壁 石造風	大正5年(1916)
帆足家本家住宅 「富春館」離れ	〃	〃	〃	木造平屋建 寄棟造 棧瓦葺 南側に廊下 北側中央に八畳座敷 書院風のつくり	昭和12年(1937)
帆足家本家住宅 「富春館」表門	〃	〃	〃	質蔵と洋館の間に建つ 二間幅の棟門 木造 切妻造 棧瓦葺 両脇に袖塀	江戸末期
帆足家本家住宅 「富春館」中門	〃	〃	〃	主屋式台玄関の西側 間口一間 木造腕木門 切妻造 棧瓦葺 両脇に袖壁	江戸末期
帆足家本家住宅 「富春館」塀	〃	〃	〃	主屋南側の庭の南側と西側を囲い、質蔵北西 隅から宝蔵南まで延びる。南東隅に腕木門	大正期
浄土寺本堂	王子西町	浄土寺	平20.10.23	木造平屋建 入母屋造 本瓦葺 大規模な七間堂	嘉永2(1849)
浄土寺庫裏	〃	〃	〃	木造2階建 寄棟造妻入棧瓦葺 床つきの座敷・奥座敷	江戸後期・末期改修
浄土寺玄関及び渡廊下	〃	〃	〃	木造平屋建 本堂と庫裏を繋ぐ 入母屋屋根の玄関	江戸末期
浄土寺大弁才天石宮	〃	〃	〃	石造 庫裏の西北 庭園内に建つ 一間社流造	明治44年(1911)
浄土寺一伯公廟	〃	〃	〃	木造平屋建 入母屋造妻入棧瓦葺 松平忠直 の墓碑を安置する	江戸後期 大正14・昭和49移築
浄土寺表門	〃	〃	〃	木造 左右袖塀付 本堂正面に建つ四脚門	明治後期 昭和26改修49移築
浄土寺北門	〃	〃	〃	木造 瓦葺 柱上に皿斗を置き、その上に台輪をまわす	大正14年(1925) 昭和49年移築
植木家住宅主屋	王子中町	個人所有	平22.5.20	木造2階建入母屋造 1階に出格子彫刻入持 送り 市内中心部に残る数少ない商家	安政元年(1854)頃
植木家住宅離れ	〃	〃	〃	入母屋造棧瓦葺 床・違棚・書院を構え意匠に凝る	昭和4年(1929)
植木家住宅離れ控えの間	〃	〃	〃	庇の意匠が数寄屋風 渡り廊下が付随する	昭和4年(1929)

(2) 県指定

① 有形文化財

柞原八幡宮文書附絵図	八幡	柞原八幡宮	昭35.3.22	絵図のみ	江戸時代
八幡宇佐宮御託宣集附裏書	〃	〃	〃	宇佐神宮に関する記録16巻と裏書2からなる 文明2年(1470)	室町時代
詫摩文書	大分市 歴史資料館	個人所有	〃	合計11巻 286点の文書 嘉応元年(1169)～慶長16年(1611)	平安時代末期～ 江戸時代初期
都甲文書	大分県立 先哲史料館	個人所有	〃	合計4巻 90通	平安～江戸時代
刀	森	個人所有	昭43.3.29	豊州高田庄 藤原行長 慶長五年	戦国時代
刀	野津原	個人所有	昭40.3.9	銘 貞行 応永時代	室町時代前半
刀	高松東	個人所有	昭43.3.29	銘 平鎮教 長さ 81.6cm	戦国時代(永祿年間)
木造不動明王坐像	上野丘	金剛宝戒寺	昭44.3.22	檜材 寄木造 像高 86.3cm	平安時代後期
木造不動明王立像	八幡	柞原八幡宮	昭45.3.31	〃 〃 像高 78.8cm	鎌倉時代末期～ 南北朝時代初期
木造女神形坐像	〃	〃	〃	樟材 一木造 像高 39.5cm	平安時代後期
木造菩薩形坐像	〃	〃	〃	〃 〃 像高 46.6cm	〃
木造祖師形坐像	〃	〃	〃	〃 〃 像高 54.8cm	平安時代末期
板彫多聞天立像	〃	〃	〃	〃 〃 像高 78.4cm	鎌倉時代
板彫不動明王立像	〃	〃	〃	〃 〃 像高 76.9cm	〃

名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘 要	参 考
紙本著色由原八幡宮 縁起絵巻附極書二通	〃	〃	〃	絵 土佐光茂 詞 青蓮院宮尊鎮法親王	室町時代
紺紙金泥増巻阿含経	〃	〃	〃	11紙 縦34cm, 横64.2cm 文和4年(1355) に尼法忍により施入	平安時代末期
山水蒔絵縁起絵巻納箱	〃	〃	〃	銘 元和八年中川秀征(岡藩2代藩主)寄進	江戸時代初期
紙本著色既図六曲屏風一双	上野丘	円 寿 寺	昭46. 3.23	土佐派の画風春隻と秋隻(各)150.0×52.5cm	江戸時代中期
絹本著色柿本人磨図	〃	〃	〃	土佐信実筆の墨書あり 縦34.5cm 横37.5cm	鎌倉時代後期
刀	千代町	個人所有	昭49. 3.19	銘 藤原統行 平成16年6月21日所有者変更による	
紙本著色風俗画	大分県立 美術館	宗 玄 寺	昭53. 3.31	大分県杵築市宗玄寺所有 大分県立美術館 寄託	
安 藤 家 刀	横 尾	個人所有	昭54. 5.15	銘 豊州高田住大和太椽藤原貞行 平成16年6月21日所有者変更による	
中 間 石 幢	志津留	共 有	昭55. 4. 8	造立者の墨書銘あり 応永6年(1399)造立	室町時代
万 年 橋	寒 田	西寒多神社	昭55. 4. 8	文久2年(1862)建造(西寒多神社境内)	江戸時代
金剛宝戒寺木造釈迦如来立像	上野丘	金剛宝戒寺	昭57. 3.30	檜材 寄木造 像高161. 6cm	鎌倉時代
豊後国諸検地帳	大分県立 先哲史料館	大 分 県	〃	文禄2年(1593)7冊 他全82冊 平9年大分県立先哲資料館	安土桃山時代～ 江戸時代初期
太 刀	坂ノ市	個人所有	昭63. 3.15	「豊州之住人直宗作 応永十八年□月十五日」銘	室町時代
木造聖徳太子立像	上野丘	金剛宝戒寺	平 9. 3.25	檜材 寄木造 像高68cm	鎌倉時代後期～ 南北朝時代
刀	大道町	個人所有	平10. 3.20	豊後国高田住藤原實行作	江戸時代
脇 差	〃	〃	〃	〃	〃
築山古墳出土品	本神崎	築山古墳保存会	平10. 3.20	築山古墳出土品一括	古墳時代
絹本著色阿弥陀如来迎図	森 町	専 想 寺	平11. 3.23	1幅	室町時代
木造阿弥陀如来立像	〃	〃	〃	1軀	鎌倉時代
巴 形 銅 器	埋蔵文化財 センター	大 分 県	〃	考古資料	弥生時代
教 尊 寺 (7 棟)	本神崎	教 尊 寺	平11. 3.23	本堂・庫裡付玄関・書院・御殿・経蔵・鐘楼・ 山門 江戸期の伽藍構成 建物の大方が現存	江戸時代
絹本著色中川家歴代藩主画像	大分県立 美術館	西 光 寺	H12. 3.24	大分県竹田市西光寺所有 大分県立美術館 寄託	江戸時代
刀	常 行	個人所有	平13. 4. 3	銘 平長盛(豊後刀の作風強く残す)	室町時代
刀	森 町	個人所有	平13. 4. 3	銘文 平 長盛 平成19年7月24日 所有者変更で白杵市より	室町時代
木造聖観音菩薩坐像	八 幡	大 山 寺	平14. 3.29	樟材 一木造 像高 273. 5cm	平安時代
木造十一面観音菩薩立像	永 興	臨 濟 寺	〃	桧材 寄木造 像高 170cm 平成18年5/18所有者変更	〃
早吸日女神社総門	佐賀関	早吸日女神社	平16. 3.30	切妻造 本瓦葺	江戸時代
早吸日女神社本殿	〃	〃	〃	三間社流造 檜皮葺	〃
早吸日女神社社家(小野家住宅)	〃	〃	〃	入母屋造 棧瓦葺	〃
長湯横穴墓群第7号墓出土品	埋蔵文化財 センター	大 分 県	平17. 3.29	鹿角製刀装具装着鉄刀 他 計28点	古墳時代後期
木造地藏菩薩立像(愛宕地藏)	青 石	妙蔵寺保存会	平17. 3.30	像高81.5cm, 材質檜, 寄木造, 彫眼, 漆箔が施されている	鎌倉時代
絹本著色涅槃図	上野丘	金剛宝戒寺	平18. 3.31	縦212.3cm 横214.5cm	鎌倉時代
木造聖徳太子二歳立像	勢 家	法 専 寺	平18. 3.31	桧材寄木造 玉眼 像高68.2cm	鎌倉時代
銅 造 如 来 立 像	上野丘	金剛宝戒寺	平19. 3.30	総高16.3cm 像高15.1cm 銅鑄造製 鍍金あり	飛鳥～白鳳

文化財

名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘 要	参 考
大志生木宝篋印塔	十 谷	西岡神社	平21. 3.17	應安六年癸丑六年(1373)の銘。「塔供養」と刻まれている。平成21年大分市指定から県指定へ	南北朝時代
王ノ瀬石棺	大分市海部古墳資料館	共 有	平24. 3.13	家形石棺 辻古墳の主体部が王ノ瀬石棺だった可能性が高い。	古墳時代中期
先哲史料館稲葉家文書	大分県立先哲史料館	大 分 県	平26. 2.14	臼杵藩主稲葉家に伝えられた文書。	江戸時代
猪野遺跡出土銅矛	歴史資料館	大 分 市	平28. 2.23	弥生中期末から後期初頭にかけて制作されたと思われる中広形銅矛。大分県下唯一の発掘調査による出土品。	弥生時代中期
木造釈迦如来坐像	松 岡	長 興 寺	平28. 2.23	鎌倉時代から南北朝時代にかけて、慶派仏師の作と考えられる。	鎌倉時代末期～南北朝時代初期
高野山本覚院文書	先哲史料館	大 分 県	平29. 3. 7	大友氏およびその家臣、近世大名にかかる書簡等1946点の文書が残されている。	中世～近代
一方平Ⅰ遺跡出土石器群	埋蔵文化財センター	大 分 県	平29. 3. 7	大分市横尾字一方平から出土した石器群。石器製作技術の全工程が復元できる資料。	旧石器時代後期
東田室遺跡出土絵画土器	埋蔵文化財センター	大 分 県	平29. 3. 7	大分市田室町古墳時代の堅穴住居跡から出土、龍文のひれ部分が描かれた絵画文様。	古墳時代中期前半
中世大友府内町跡出土キリシタン関係遺物	埋蔵文化財センター	大 分 県	平29. 3. 7	大分市顕徳町を中心とした中世大友府内町跡出土のメダイ等キリスト教関係資料。	戦国時代(16世紀後半)
絹本著色隠元・木庵・即非三幅対像	田 室	長 福 寺	平30. 2. 6	黄檗宗三禅師肖像画 寛文元年(1661)制作	江戸時代
四日市遺跡出土木簡墓出土品	埋蔵文化財センター	大 分 県	平30. 2. 6	「青磁唾壺」「隅入宝鏡」等の出土。被葬者は大宰府に関係する玖珠郡の官人と考えられる。	平安時代

② 史 跡

丑 殿 古 墳	賀 来	丑殿神社	昭30. 5.28	横穴式石室 家形石棺(昭47年保存施設)	古墳時代後期
脇 蘭 室 墓	鶴 崎	大 分 市	昭32. 3.26	墓碑 表面に高弟帆足萬里による「文教脇先生墓」の六字	江戸時代
楠木生石造五重塔	下戸次	個人所有	昭34. 3.20	銘 延文五年(1360)庚子三月十七日	南北朝時代
府 内 城 跡	大 手 町 荷 揚 町	大 分 市	昭38. 2.15	石垣, 土塀, 堀, 櫓2, 櫓跡1	江戸時代
曲石仏付双塔(五輪塔)・磨崖連碑	曲	共 有	昭41. 3.23	磨崖仏 石窟内に丸彫りの像や陽刻の像が安置される(昭47年補修)	平安時代末期～室町時代
口戸磨崖仏附磨崖五輪及塔	口 戸	個人所有	昭44. 3.22	宇佐八幡宮と関連ある磨崖仏	鎌倉時代末期～室町時代
毛利空桑旧宅及び塾跡	鶴 崎	大 分 市	昭45. 3.31	空桑私宅「天勝堂」塾「知来館」安政4年(1857)一緒に建設 遺品館に遺品陳列	江戸時代
岩 屋 寺 石 仏	古国府	円 寿 寺	〃	国指定解除物件	鎌倉時代～室町時代
参勤交代道路	今 市	大 分 市	昭47. 3.21	幅2.1m 長さ660mの石畳	江戸時代
蓬 萊 山 古 墳	庄ノ原	共 有	昭56. 3.31	前方後円墳 全長60m	古墳時代前期
毛利空桑墓	常 行	共 有	昭62. 6.29	墓碑「日本国儒者毛利到墓」と大書 陰刻 昭36.3.14 指定後地番誤記判明昭62.6.29 再指定	江戸時代
小 牧 山 古 墳 群	松 岡	大 分 市	平23. 2.29	方墳3 円墳2 前方後円墳1 保存状態良好	古墳時代

③ 史跡

賀来神社卯酉の神事	賀 来	共 有	昭33. 3.25	記録保存の措置を講ずべきものとして選択「賀来の市」	
鶴 崎 踊	鶴 崎	鶴崎おどり会	昭56. 3.31	記録保存の措置を講ずべきものとして選択	

④ 天然記念物

高島のビロウ自生地	高 島	大 分 市	昭30. 5.27	1株	
高島のウミネコ営巣地	〃	〃	〃	400羽程度 5月～8月中旬に営巣	

(3) 市指定

① 有形文化財

名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘 要	参 考
熊野権現縁起絵巻	津 守	熊野神社	昭49. 1. 9	松平忠直の遺品 全13巻(熊野神社)	江戸時代
神 庫	寒 田	西寒多神社	〃	校倉造 応永15年(1408) 明治19年改修(西寒多神社境内)	室町時代
鳥 居	王子町	王子神社	〃	寛政8年(1796)2月建立(王子神社境内)	江戸時代
刀(大・小)	府内町	個人所有	〃	毛利空桑所持刀 刀 長さ 89.5cm 脇差 長さ 59.0cm	刀 室町時代 脇指 江戸時代
刀	歴史資料館	大分市	〃	表銘 豊府家士神弧丸盛利行年七十才作 裏銘 天保9年戊戌2月■日任望角幸安鍛 天保9年(1838)	江戸時代
円寿寺相伝文書及び大友資料	上野丘	円寿寺	昭51. 8. 24	開基道勇置文以下15件内 大友関係資料 1巻12通	鎌倉時代~室町時代
大般若経本附納函	大分県立先哲史料館	〃	〃	寛正4年(1463)寄進	室町時代
御城下絵図	歴史資料館	大分市	昭56. 8. 1	府内藩主が府内城下から「浜の市」を見物に行く行列を中心に絵巻物仕立てで描いたもの	江戸時代
十一面観音立像	国分	国分寺	〃	桜材 寄木造 像高 106. 2cm 藤原仏の特徴	平安時代後期
万寿寺石造国東塔	金池	万寿寺	昭56. 8. 1	国東地方に発達した宝塔の一種	鎌倉時代
波奈之丸屏風(厳島神社図)	歴史資料館	個人所有	平2. 7. 16	御座船波奈之丸に置かれた屏風	江戸時代前期
熊本藩船鶴崎入港船絵馬	東鶴崎	劔八幡社	平3. 3. 27	熊本藩の参勤交代船の模様を描いた絵馬 [寛政10年(1798)]	江戸時代
岡藩船三佐入港船絵馬	三佐	野坂神社	〃	岡藩の参勤交代船の模様を描いた絵馬 [文化10年(1813)]	〃
府内藩校遊焉館絵図	歴史資料館	弥栄神社	平6. 2. 28	遊焉館の学習風景を描いた絵図	江戸時代末期
帆足本家酒造蔵	中戸次	大分市	平11. 3. 23	酒造過程のわかる木造建築物	明治~大正
脇 指	府内町	個人所有	平16. 3. 31	銘文 表 豊州藤原友行 裏 貞治七年三月日(1368)	南北朝時代
刀	森町	個人所有	平16. 3. 31	銘文 表 豊後国高田住次右衛門藤原統行 裏 明暦元年九月吉日(1655)	江戸時代初期
刀	永興	個人所有	平16. 3. 31	銘文 表 長谷部國重 相伝の名門の一派 「府内國重」とも呼ばれる	室町時代後期
木造宝冠釈迦如来坐像	太田	個人所有	平17. 3. 31	桧材 寄木造 像高 68.5cm	南北朝時代
木造毘沙門天立像	恵良	西福寺	〃	桧材 寄木造 像高 65cm	江戸時代前半
木造薬師三尊立像	本町	福城寺	〃	桧材 一木彫成	室町時代前半
銅造観音菩薩立像	今市	安楽寺	〃	銅製の像 像高 26.2cm 懸仏	鎌倉時代後半
丸山八幡神社楼門	〃	丸山八幡神社	〃	享保5年(1720)入母屋造 3回修理	江戸時代
木造地藏菩薩立像(愛宕地藏)	本神崎	八幡神社	〃	像高 96.8cm, 台高 36.5cm, 材質檜, 寄木造, 玉眼入りで彩色が施されている	江戸時代初期
大平文書	大平	個人所有	〃	数少ない肥後細川藩領の地方文書 近世文書と近代文書に二分される	江戸時代~明治時代
若林文書・系図	一尺屋	個人所有	〃	大友氏の水軍として活躍した若林家の文書。国立歴史民俗博物館所蔵若林文書と兄弟文書である。	戦国時代
早吸日女神社石鳥居	佐賀関	早吸日女神社	平17. 9. 27	寛永17年(1640)6月の刻銘 熊本藩主細川忠利の寄進	江戸時代初期
早吸日女神社神楽殿	〃	〃	〃	文政10年(1827)以降, 元の半分規模で現在地に移築大正4年改築切妻造本瓦葺	江戸時代後期
早吸日女神社拝殿	〃	〃	〃	宝暦13年(1763)6月細川重賢建立 嘉永3年(1850)改修 入母屋造本瓦葺	江戸時代中期

文化財

名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘要	参考
熊本藩船佐賀馬 関入港船絵	〃	〃	〃	藩主が参勤交代時に座乗する御座船の図で、 描写法や画材などから江戸末期の作品	江戸時代末期
西谷橋	大平	大分市	〃	文政7年(1824)甲申3月白杵大野の石工、 新左エ門・友蔵によって構築架橋	江戸時代後期
西福寺宝篋印塔	恵良	西福寺	平17.3.31	宝篋印陀羅尼経を納めた供養塔 総高258.5cm	室町時代
福城寺逆修石幢	本町	福城寺	〃	大永6年(1526)の銘	戦国時代
福城寺宝塔	〃	〃	〃	総高244.5cm	南北朝時代後半
山の川石造宝塔・宝篋印塔	入蔵	個人所有	〃	どちらも溶結凝灰岩製	室町時代前半
摺石幢	摺	個人所有	〃	総高226cm 八角形	戦国時代
原村石幢	原村	個人所有	〃	安山岩製 総高269cm	室町時代後半
地福寺宝塔	福宗	地福寺	〃	2基並立 向かって右184cm, 左176cm	室町時代中期
地福寺石幢	〃	〃	〃	明和8年(1771)の銘 凝灰岩製	江戸時代中期
永富家逆修碑(3基)	新町	個人所有	〃	生前に供養する供養石塔 慶長5年(1600)の銘	安土桃山時代末期
宝泉寺大乘妙典一字一石塔	竹屋	個人所有	〃	総高215cm 享保12年(1727)の銘	江戸時代
霊山寺山門	岡川	霊山寺	平19.8.12	木造・銅板葺・三間一戸二重門。禅宗様の特徴が 表れている。古文書より寛永15年(1638)建築。	江戸時代
常楽寺文書	岡川	常楽寺	平19.8.12	大友松野家系図・大友歴代の記載が豊富 少式 頼尚施行状写・毛利輝元書状写・政治状況	中世・近世
光西寺真宗関係資料	末広町	光西寺	平19.8.12	六字名号・親鸞聖人像・方便法身像・親鸞聖 人絵伝 六字名号は蓮如真筆	室町・江戸時代
水分神社銅鉢	横尾	水分神社	平20.12.4	完形品と残欠2個 精巧な鑄上がりで埋納さ れていた 北部九州で鑄造	弥生時代中期末～ 弥生時代後期前
伝岩屋遺跡出土銅戈・石戈	歴史資料館	銅戈・大分市 石戈・個人所有	〃	銅戈は、細形銅戈で我が国初期鑄造品 石戈は、遠賀川流域で製作された可能性	弥生時代中期
勝光寺華南三貼花文五耳壺	歴史資料館	勝光寺	平21.12.16	深い光沢のある緑色を基調とした優品	安土桃山時代
大分市内出土 青銅破鏡	歴史資料館 埋蔵文化財センター	大分市 大分県	〃	漢鏡	弥生時代後期～ 後期終末
原田家宝篋印塔	福宗	個人所有	平22.12.17	総高147cm 安山岩製 四方仏の尊影を浮 き彫りにしている。	室町時代
大分市内出土 青銅器	歴史資料館	大分市	〃	青銅製ヤリガンナ, 小銅鐸	弥生時代中期～後期
「天長九年尼寺」 「尼寺」墨書土器3点	歴史資料館	大分市	平23.12.19	豊後国分寺西側より出土。国分尼寺の位置を 推定する資料。	平安時代
伝名辺山谷出土銅矛	歴史資料館	大分市	平26.3.11	弥生中期末から後期初頭にかけて北部九州へ制作されたとされる中 広形銅矛。江戸時代に大分市木田の名辺山谷より出土したとされる。	弥生時代中期
木造釈迦如来坐像	永興	臨濟寺	平27.7.3	江戸時代初期から中期にかけて活躍した、大 坂の仏師宮内法橋の作と考えられる	江戸時代中期
松栄神社所蔵絵図	歴史資料館	松栄神社	平27.12.25	府内城の櫓および府内藩の施設の姿を表した 絵図および指図	江戸時代後期
合澤家所蔵文書	中島	個人所有	平27.12.25	戦国時代に佐賀関一尺屋を拠点として活躍し た若林水軍に関係する文書	室町時代～明治時代
立小野区有文書	歴史資料館	立小野区	平29.3.9	江戸時代延岡藩領であった立小野村に残され伝えられた文書。隣接 する村々との境界紛争を中心とし、「傘連判状」が残されている。	江戸時代～昭和
木造五劫思惟阿 弥陀如来坐像	片島	片島下区	平29.3.9	桧材の寄木造で、単純な衣文、ふくよかな童顔をしており、 15世紀の作と考えられ、全国的に造像例が少ない。	室町時代

② 史跡

名称または物件	所在地	所有者または管理団体	指定年月日	摘 要	参 考
大友頼泰墓	岡川	常楽寺	昭49. 1. 9	五輪塔 高さ176cm 大友氏三代 延享元年(1744)以降 H19/6/4所有者修正	江戸時代
丹生遺跡	丹生	大分市	〃	昭和37年～42年にかけて、6次にわたって調査	旧石器時代
滝尾百穴横穴古墳群	羽田	共有	〃	横穴古墳群	古墳時代後期
伽藍石仏	永興	個人所有	〃	仏像の配列に特徴あり	鎌倉時代～室町時代
府内城跡	荷揚町	大分市	平7. 2.17	県指定部分を除く城地	江戸時代
佐藤家墓地五輪塔群	前田	個人所有	平17. 3.31	材質すべて角閃石安山岩 完形41基	戦国時代～江戸時代初期
鶴迫磨崖仏	太田	地福寺	〃	地藏尊「火防(ひぶせ)の地藏さま」と呼ばれる	安土桃山時代末期～江戸時代初期
鶴迫磨崖連碑	〃	個人所有	〃	15基の板碑型の碑 永禄2年(1559)の銘	室町時代末期

③ 無形民俗文化財

柞原太鼓	八幡	保存会	昭54. 6.14	柞原八幡宮の放生会「浜の市」に起源をもつ。	
深山流伊与床神楽	端登	神楽社	平12. 6.16	市内唯一の深山流の流れをもち、忠実に古様を伝えている。	
岡倉神楽	下原	保存会	平18. 3. 7	勇壮な神楽であり、活発に活動している。また、伝承も計画的に行われている。	明治時代～
鶴崎踊	鶴崎	鶴崎おどり保存会	昭56. 3.31	江戸時代中期以降に発達した。左衛門、猿丸太夫がある。	国選択無形民俗文化財 県選択無形民俗文化財

④ 無形文化財

廻栖野の竹細工技術	廻栖野	保持者2名	平23.12.19	長いヒゴを使用した、青物系の竹細工技術。大分県在来の古い技術。	
-----------	-----	-------	-----------	---------------------------------	--

⑤ 無形文化財(選択)

羽田神楽	羽田	大分社	平17. 9.27	昭和45年創立と新しいが、庄内神楽の流れをくみ伝承に熱心に取り組んでいる(選択)	昭和45年～
------	----	-----	-----------	--	--------

⑥ 有形民俗文化財

鯨網大漁光景図絵馬	佐賀関	早吸日女神社	平17. 9.27	明治45年に奉納された漁撈絵馬で当時の鯨網漁の様子が詳細に描かれている	明治時代
漁業図大絵馬	〃	〃	〃	明治35年に奉納された漁撈絵馬で珊瑚樹採取の船団を描写している	明治時代
帆足本家酒造用具一式	中戸次	大分市	〃	多くの酒造用具が残され、それらは伝統的な民具で構成されている(342点) H19/2/8大分市へ寄付	江戸時代末期～昭和47年

⑦ 天然記念物

オオイタサンショウウオおよび生息地	岡川	霊山寺	昭49. 1. 9	希少種とされている(霊山寺境内)	
ヤマフジ	寒田	西寒多神社	〃	枝張り 東西約24m、南北約5mの範囲で広がる(西寒多神社境内)	
クスノキ	下戸次	八幡神社	〃	高さ約20m 樹冠の広がり東西約33m 南北45m(八幡社境内)	
柞原八幡宮の森	八幡	柞原八幡宮	平2. 9.12	自然林の残存林 柞原八幡宮境内林	

5 大分市歴史資料館

所在地 大分市大字国分 960 番地の 1
 電話 097-549-0880
 FAX 097-549-5766

(1) 運営方針

市内を中心とした考古、歴史、民俗の各分野にわたる資料を公開展示するとともに、企画展示、テーマ展示、各種の講座・講演会などを通して、広く市民が郷土の歴史を学ぶ場をめざしている。また、学校と連携して各教育課程に適応した歴史学習や体験活動のプログラムを充実させ、職員が学校に向向いて体験活動の指導を行う「出張歴史教室」を推進する。

更に、大友氏関係及び同時代の歴史資料の調査研究と収集を進め、郷土資料の保存・公開をはかり、大分の歴史に関する情報を積極的に発信する。

(2) 施設の概要

昭和 62 年 4 月 開館
 敷地面積 4380.00㎡ 建築面積 1889.60㎡
 延床面積 2576.92㎡ 展示室面積 690.75㎡

(3) 展 示

原始から近世までの通史的展示と民俗資料の常設展示をしている。各種の模型やイラスト、年表などを多用し、平易で立体的な展示を行っている。また、テーマ展示室を設け、テーマ毎に順次館蔵品等を公開している。

① 1階ホール

豊後国分寺七重塔復元模型（1 / 10）、市内の石仏案内。

② 常設展示室

第1展示室

大分のあけぼの、大分の君と古墳の時代、国分寺と律令の時代。

第2展示室

大友宗麟と中世、近世の府内

民俗展示室 明治から昭和にかけての食卓風景を中心に、その時代に使われた生活道具をオープン展示。

③ テーマ展示室

常設展示以外の館蔵資料を中心に年3回テーマに沿って展示。

④ 子ども歴史学習コーナー及び自分史・家族史コーナー

子どもたちの調べ学習に利用できる歴史・郷土史の本を設置。さらに、自分史・家族史の展示コーナーを設置。

⑤ 豊後国分寺跡の散策

七重塔跡・金堂跡の礎石や、整備された講堂・食堂・回廊・中門跡をめぐり、奈良時代を体験しながらの散策が楽しめる。

(4) 企画展（平成 30 年度）

① 第 37 回特別展

「日本 100 名城 大分府内城」

会期 10月5日（金）～11月25日（日）
 （開館日数：46日）

内容

江戸時代に、現在の太田市周辺を領有する府内藩が成立する。その藩主の居城として「府内城」は築城された。福原直高により築城がはじめられ竹中重



「正保城絵図」
 （複製：部分）

利により完成された府内城は、水上に浮かぶ姿から「白雉城」とも呼ばれ、四層の天守に複数の櫓を備えた天守丸は姫路城にも劣らない規模であった。現存する「宗門櫓」「人質櫓」は県指定文化財となっており、平成 18 年には「日本 100 名城」に選定された。

本展示では、日本城郭協会の後援を受け、復元模型や資料から在りし日の府内城の姿に迫る。

② テーマ展示（平成 30 年度）

第 1 回「王朝文化へのいざない 源氏物語絵」

会期 4月28日（土）～6月17日（日）

内容 平安時代の国風文化は、貴族社会で生まれた王朝文化であり、仮名文字を生み出した。これにより、日本古典文学の最高傑作といわれる紫式部による「源氏物語」が生まれた。源氏物語絵を中心に、具合せや百人一首などを紹介し、王朝文化の世界観を感じてもらう。

第 2 回「いきものばかり 資料にみる小さな生き物」

会期 7月14日（土）～9月3日（月）

内容 賀来飛霞の写生図や、生き物が意匠された資料などを通して、身近な小さな生き物と、そこに注がれた先人たちの眼差しを紹介する。

第 3 回「収蔵コレクション（2018 年度）」

会期 1月26日（土）～3月31日（日）

内容 これまでの企画展などで紹介できなかった資料館の所蔵する資料を「収蔵コレクション」として紹介する。

③ まちかど歴史展示館

大分の歴史や民俗・文化財を紹介するパネルを中心とした移動展示を行う。

(5) 各種講座（平成30年度）

講座名	期間（開催日時）	定員	内 容	備考	
ふるさとの歴史再発見・考古のコース	4月～6月計5回	原則第2・第4土曜日午後2時～3時30分	70名	大分県内の発掘調査にかかわる報告	有料
ふるさとの歴史再発見・歴史のコース	7月～9月計5回		70名	郷土大分の歴史と人物について	有料
ふるさとの歴史再発見・民俗・文化史のコース	10月～12月計4回		70名	大分の民俗と文化について	有料
ふるさとの歴史再発見・古文書のコース	1月～3月計5回		70名	中・近世文書の解説	有料
ふれあい歴史体験講座（親子と一般）	原則毎月第1・3土曜日午前9時30分～と午後2時～の2回	各70名	管玉丸玉作り/土笛作り/勾玉作り/粘土埴輪作り/和風作り/土偶作り/土の鈴作り/かご編み/土面作り/折り紙雛作り など	有料	
			火起し	無料	
昔のおもちゃで遊ぼう（親子と一般）	5月5日（土）こどもの日 午前9時～午後4時	なし	資料館隣の広い史跡公園で、手作りのおもちゃ（竹馬、コマ、お手玉等）で遊ぶ	無料	
勾玉作り教室（親子と一般）	7月28日（土） 11月17日（土） 午前9時～午後1時～	なし	事前申し込み不要で、好きな時間に勾玉作りを体験する	有料	
夏休みジュニア歴史探険（小4～中学生）	8月2日（木） 午前9時30分～午後3時30分	30名	小中学生を対象に、史跡をめぐる歴史探険などの活動を実施する	有料	
歴史教育研修（小中学校教職員対象）	6月14日（木）、19日（火）、 午後5時30分～午後7時 7月31日（火）、 12月26日（水） 午前9時～12時	応募	館内見学/体験活動実践講習 講義（市内指定文化財） 現地学習など	無料	
展示解説講座	開催期間中頃の日曜日 午後2時～	各70名	展示品を解説し、会場を案内する テーマ展・特別展ごとに各1回開催	無料	

(6) 利用状況

① 利用者数

年度	入館者		講座室等利用者		合計
	大人	小中高生	大人	小中高生	
平成24年度	7,346	14,230	8,731	15,351	45,658
平成25年度	9,105	14,355	8,309	13,946	45,715
平成26年度	10,148	11,197	9,832	14,682	45,859
平成27年度	12,273	9,327	10,595	13,754	45,949
平成28年度	11,345	11,518	9,580	13,979	46,422

② 利用状況（平成29年度）

区分	観覧者		講座室利用者		移動講座	合計
	個人	団体	一般	講座・体験		
大人	7,511	3,834	4,057	4,503	1,020	20,925
中高生	113	348	1,560	10,484	1,935	25,497
小学生	936	10,121				
合計	8,560	14,303	5,617	14,987	2,955	46,422

③ 各種講座参加者数（平成29年度）

講座名	延回数	参加者数
ふるさとの歴史再発見	考古のコース	5回 268人
	歴史のコース	5回 229人
	民俗・文化史のコース	4回 165人
	古文書のコース	5回 272人
ふれあい歴史体験講座	18回	1,129人
昔のおもちゃで遊ぼう	1回	353人
勾玉作り教室	2回	378人
ジュニア歴史探険	1回	24人
展示解説講座	4回	167人
合計	48回	2,985人

④ 企画展入館者数（平成 29 年度）

名 称	期 間	入館者数
第 36 回特別展 「威信の舞台 よみがえる大友館」	10 月 27 日（金）～ 12 月 4 日（月） （開館日数 34 日間）	5,990 人
記念講演 「館の構造と荘厳」	11 月 19 日（日）	117 人
テーマ展示Ⅰ 「子どもたちの天神人形」	4 月 29 日（土）～ 6 月 25 日（日） （開館日数 50 日間）	2,540 人
テーマ展示Ⅱ 「資料館で“たのしい”自由研究」	7 月 22 日（土）～ 9 月 24 日（日） （開館日数 54 日間）	2,663 人
テーマ展示Ⅲ 「大分の刀剣」	1 月 27 日（土）～ 4 月 2 日（月） （開館日数 56 日間）	5,317 人
まちかど歴史展示館	10 月 14 日（土）～ 29 年 11 月 5 日（日） 市内 3 か所に設置	3,395 人

(7) 調査研究（平成 29 年度）

- ① 平成 29 年度（第 36 回）特別展調査
平成 29 年度の特別展「威信の舞台 よみがえる大友館」の予備調査を奈良県立美術館、九州国立博物館などで行った。
- ② 平成 30 年度（第 37 回）特別展調査
平成 30 年度の特別展「日本 100 名城 大分府内城」の予備調査を国立歴史民俗博物館、大阪城天守閣、安土城考古博物館などで行った。
- ③ 市内、県内の考古・歴史・民俗資料調査
資料館に寄せられる情報をもとに、資料の収集と記録保存を目的とした調査を随時行った。

(8) 資料収集（平成 29 年度）

展示・保存・研究のため、寄贈・寄託・購入等の方法で、資料の収集につとめている。平成 29 年度の主な収集資料は以下のとおりである。

- ① 購入資料
 - ・華南三彩鳥形水滴 2 点
 - ・『イエズス会士日本書簡集』（ドイツ語版）全 3 巻
 - ・豊後佐賀之関之真景 1 枚
 - ・大分近傍図（大分町・別府・立石町） 3 枚
 - ・別府大分電鉄沿線図 1 枚
- ② 寄贈資料
 - ・軍靴や双眼鏡など戦争関係資料 2 件
 - ・旧荷揚町小学校資料など民俗資料 13 件

(9) 刊行物（平成 29 年度）

- ① 資料館ニュース NO.115～117
- ② 平成 29 年度（第 36 回）特別展図録・ポスター・チラシ
- ③ 平成 30 年度 大分市歴史資料館総合案内
- ④ 文化財だより 2017 年度号（歴史資料館特別展特集）
- ⑤ 大分市歴史資料館リーフレット英語版

(10) 利用案内

開館時間 午前 9：00～午後 5：00

（入館は午後 4：30 まで）

休館日 毎週月曜日（祝日の場合は開館）
ただし、毎月第 1 月曜日は開館し、翌火曜日が休館（祝日の場合は開館）
祝日の翌日（土・日曜の場合は開館）
年末年始（12 月 28 日～1 月 4 日）

観覧料 大 人 200 円（団体 150 円）
高 校 生 100 円（団体 50 円）
中学生以下 無料

* 団体は 20 名以上
* 特別展開催中は別料金になることがある

講座室 第 1 講座室 1 時間 150 円
第 2 講座室 1 時間 100 円

* 一室として利用することも可
* 冷暖房を使用する場合は 4 割増しとする

交通機関

J R 久大本線 豊後国分駅下車
徒歩 2 分